

【教育委員会議事録】平成27年9月定例会

開催日時	平成27年9月15日(火) 10:00~11:30
開催場所	下関市上田中町庁舎 1階会議室
出席委員の氏名	波佐間 清(教育長) 吉井 克也(教育長職務代理者) 野口 裕子 藤井 悦子 林 俊作
欠席委員の氏名	欠席なし
委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名	教育部長 石津 幸紀生 教育部理事 肥塚 敬文 教育部理事 山路 康正 教育政策課長 三好 洋一 学校教育課長 森永 亮 教育指導監(教育研修室長) 澄川 忠男 学校支援課長 石田 朋彦 学校安全課長 藤岡 俊明 教育指導監(生徒指導推進室長) 岡崎 茂邦 生涯学習課長 古西 修一 文化財保護課長 町田 一仁 図書館政策課長 高原 祐二 美術館副館長 中村 美幸 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム館長 西村 敬教 下関商業高等学校事務長 和田 守正 菊川教育支所長 林 文男 豊田教育支所長 山尾 淳子 豊浦教育支所長 戸田 一仁 豊北教育支所長 西島 一明 こども育成課長 川口 和子 教育政策課主幹 光吉 計志 教育政策課主査 岡本 誠也 教育政策課主任 富田 友成
傍聴人の数	傍聴人なし

次第（目次）

【開会の宣告】	……………	P 3
【署名委員の指名】	……………	P 3
【教育長報告】	……………	P 3
【議案審議】		
議案第 6 2 号 教育功労者表彰（篤行表彰）について	……………	P 4
議案第 6 3 号 下関市教育委員会事務分掌規則の一部を改正する規則	……………	P 5
議案第 6 4 号 下関市指定管理候補者選定委員会（生涯学習施設関係）委員 の委嘱について	……………	P 6
議案第 6 5 号 下関市立豊北歴史民俗資料館運営協議会委員の委嘱について	…	P 7
【報告事項】		
平成 2 7 年度子ども文化パスポート事業の集計結果について	……………	P 7
台風 1 5 号接近に伴う教育施設災害状況について	……………	P 9
平成 2 7 年度地区文化祭・公民館まつり等について	……………	P 11
下関市立考古博物館開館 2 0 周年記念特別展「綾羅木郷遺跡とその時代 一環濠集落事始め一」開催について	……………	P 11
下関市立考古博物館開館 2 0 周年記念シンポジウム「綾羅木郷遺跡 一本州最西端の弥生文化を探る一」開催について	……………	P 11
下関市立美術館の開館時間の変更について	……………	P 13
平成 2 8 年度下関市立就学前施設の園児募集について	……………	P 14
第 2 次下関市総合計画実施計画について	……………	P 16
平成 2 7 年度全国学力・学習状況調査における下関市の結果分析について	……………	P 17
【その他】	……………	P 20
【閉会の宣告】	……………	P 21

【開会の宣告】

波佐間清（教育長）

おはようございます。それでは教育委員会9月の定例会を開催したいと思います。

【署名委員の指名】

波佐間清（教育長）

本日の議事録の署名は、「吉井委員」「藤井委員」をお願いいたします。

本日の日程は、日程1の「議案」が4件、日程2の「報告事項」が追加2件と合わせて9件、日程3「その他」となっております。

【教育長報告】

波佐間清（教育長）

それでは、議案第62号の審議に入る前に、教育長報告を行います。

お手元の資料を見ていただければと思います。今、市議会が開催をされており、会期は9月3日木曜日から30日水曜日まであります。特に、9月8日火曜日に文教厚生委員会がございまして、議案について審査と報告をしたところであります。まず、補正予算及び奨学金貸付条例の一部改正が審議され、そして、適正規模、点検評価、耐震化、学校の統廃合、全国学力・学習状況調査等の報告をしたところであります。

そして、9月11日金曜日に昨年度の決算審査特別委員会があったところであります。決算委員会の中で、議員の皆さまから様々なご意見をいただきました。村中議員からは、教育総務費の報償費の不用額があるがこれはなんだということで、コミュニティ・スクールに係るコーディネーターの謝金についての質疑があり、もっとコーディネーターが使いやすいようになるようにしてはどうかというご意見がありました。江原議員からは、田耕小学校と滝部小学校の統合協議など、豊北全体の意見交換を開くべきではないか、跡地利用についてはいかがかという質問がございました。香川議員からは、ヤングテレフォンの相談窓口の時間を少し夜にしたのは大変良かったのではないかなというようなご意見もいただきました。濱岡議員からは、点検評価の適正規模・適正配置について、施策の成果の達成度がD評価ではなく、もっと評価してもいいのではないかというご意見もありました。その他、決算委員会では様々なご意見を頂戴したところであります。

次に、一般質問につきましては、学校の適正規模・適正配置に関する質問、それから先日ありました教科書採択についての質問など、11人の方が質問をされるというところであります。

それから、9月2日から9月6日まで、アメリカのピッツバーグ市から訪問団が下関市に来られました。ピート・ロングマイヤー市長さんやコレット・サイモント経済開発マネージャーをはじめ、中学校の校長先生、高等学校の校長先生、そして高校生が4人、ホームステイを兼ねて訪問されました。その間、2度ほど懇親を持つ機会があって、特にロングマイヤー市長さん、それからコレットさん、中学校・高校の校長先生方と懇親を深めて、向こうの教育事情もかなり聞くことができました。最後の日に、これまでのピッツバーグに訪問した中学生、OBの方々、今年行った人など、多くの方々との懇親を深めてレセプションを行いました。江島前市長さんも来られて、ピッツバーグ市との交流の経緯、友好都市提携を結んだお話等も交えて交流をしたところであります。最後は大変盛り上がり、アメリカ団の高校生がメキシコの衣装を着て皆で踊ったり、向こうの音楽に合わせて踊ったりということで、OBの方々も参加をさせていただいて盛り上げていただいたところであります。野口委員にも参加をさせていただきました。何かありましたらお願いします。

野口裕子（教育委員）

ロングマイヤー市長さんから、下関市の教育について大変感銘を受けたという話、それから、あちらの中学校の校長先生・高等学校の校長先生からも、日本の教育制度について素晴らしい取

り組みをされているというお話を伺いました。特に、ロングマイヤー市長さんからは、下関市の学校との交流を深めるために、例えばスカイプで交流をする方法があるというような提案を受けました。すぐに同席されておられた福岡指導主事に伝えましたところ、ジェットラグがあるので、その辺りをクリアしないといけないというような話で、私たちも盛り上がりました。大変良い機会を与えていただきまして、ありがとうございました。

波佐間清（教育長）

今回、OBの方々も参加をされましたが、ちょうど世界スカウトジャンボリーでボランティアガイドを務めた高校生達が、一週間であったけれども、もっとあっても良いと、長くもっともっと触れあいたかったというような感想も述べていました。下関市からピッツバーグへのホームステイについては、国際ソロプチミスト東下関からの1人当たり5万円の援助をいただいております。大変感謝をされております。

それから、サイエンスフェスティバルについては、今週ずっとありまして、私もオープン式に行きました。今年のサイエンスフェスティバルは、シーモール、ふくふくこども館、生涯学習プラザ、中央図書館、海響館、それから、はいからっと横丁でもやりました。今回2日間で、12,900人の子供たちが参加したようであります。昨年は7,000人で、今回これだけ多くの子供たちが参加をしました。科学に対して楽しいイベントがたくさんあって、親子連れで楽しんでいたところでもあります。

それからその日の夜は、このサイエンスフェスタを中心となってやっている山口大学の学生たちに講義をし、そして将来の夢、目指す教員像についてお話をしました。

最後に、9月13日に、下関出身の林伊佐緒さんという歌手の没20年メモリアルコンサートが勝山公民館でございました。この林伊佐緒さんは、我々の世代から上の方はよく知っていると思いますが、紅白歌合戦に11回出場されて、王喜出身です。王喜小学校、木屋川中学校、豊田中小学校、阿川小学校等、市内で7校の校歌を作曲しておられます。亡くなられて20年経つわけですが、私も聞きながら、すごい方がいたんだなあということとびっくりしたところです。以上で教育長報告を終わりたいと思います。何か質問がございましたら。

吉井克也（教育長職務代理者）

サイエンスフェスティバルには、私も行きたかったのですが、急遽動けなくなって失礼をしました。以前から下関には、科学や理科に親しむ場が少ないよねという意見が教育現場からもかなりありました。こういうことをやっておられるということで、本当に素晴らしいなと思います。これをますます盛り上がるようにやっていただきたいと思います。大変嬉しいことです。

波佐間清（教育長）

このサイエンスフェスティバルは川中公民館で、小学校の科学展や夏休みの作品展の展示など細々とやっておりました。それを3年前からシーモールに場所を移して行っています。様々なイベントで子供たちの科学の目、そういうものに本当に役立っていると思います。

他に何かご意見やご感想はありますか。

(ありません)

【議案審議】

議案第62号 教育功労者表彰（篤行表彰）について

波佐間清（教育長）

日程1、議案審議に入ります。「議案第62号 教育功労者表彰について」、教育政策課、お願いいたします。

三好洋一（教育政策課長）

それでは、「議案第62号 教育功労者表彰（篤行表彰）について」ご説明いたします。

本件は、文化財保護課長より内申があり、去る8月26日に開催された選考委員会において協議を行い、本日議案として提出するものであります。委員の皆さまには、お手元に選考委員会における資料をお配りしております。内容につきましては、山田久雄様より、本市の博物館活動の充実に資することを願い、下関市立長府博物館へ長州藩馬回り山田家伝世の甲冑一式1領と編み笠1蓋、価格にして53万円相当の寄付があったものでございます。説明は簡単ですが、以上でございます。ご審議のほどよろしく願いいたします。

波佐間清（教育長）

編み笠の模様は何の模様ですか。

町田一仁（文化財保護課長）

これは軍配で、山田家の家紋です。

波佐間清（教育長）

今度の新博物館に展示されますか。

町田一仁（文化財保護課長）

常設ではなかなか展示できないとは思いますが、折にふれて展示ができればと思っています。

波佐間清（教育長）

わかりました。他にないようでしたらこの議案第62号について承認としてよろしいでしょうか。

（はい）

波佐間清（教育長）

それでは承認といたします。

【議案審議】

議案第63号 下関市教育委員会事務分掌規則の一部を改正する規則

波佐間清（教育長）

続きまして、「議案第63号 下関市教育委員会事務分掌規則の一部を改正する規則」、教育政策課、お願いいたします。

三好洋一（教育政策課長）

それでは、「議案第63号 下関市教育委員会事務分掌規則の一部を改正する規則について」ご説明をいたします。資料は4ページから5ページになります。

まず、8月の教育委員会定例会におきまして、平成27年度に指定管理者を再指定する施設として、「下関市串学習等供用会館及び下関市芝学習等供用会館」のご報告をしております。下関市公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例第5条の規定により、指定管理者の選定については、特別な場合を除き、下関市指定管理候補者選定委員会を設置し、審議することとなっております。当該選定委員会は教育委員会の諮問に応じて審議する機関であることから、附属機関として位置づけられることとなります。このたびの規則の改正は、指定管理者の選定のために、教育委員会の附属機関として、下関市指定管理候補者選定委員会を設置することに伴い、下関市教育委員会事務分掌規則の第38条を改正しようとするものでございます。指定管理については、一般的には5年間の指定期間となっており、指定管理者の選定が終了すれば、当分の間は当該委員会が開催することはありません。他の附属機関のように年に数回開催し、意見をいただ

くというものとは異なるということから、第38条において、他の附属機関の規定とは切り離して、新たに第3号として追加するものでございます。

5ページの新旧対照表をご覧ください。第38条においては、このたび第3号で、下関市公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例に基づく附属機関として、下関市指定管理候補者選定委員会（生涯学習関係施設）の規定を設け、それぞれ担任する事務及び庶務を処理する組織を掲載した表を加えております。

施行日は、公布の日からとしております。よろしくご審議のほどお願いいたします。

波佐間清（教育長）

ただいま、説明がございました。この議案に対して、ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

（ありません）

波佐間清（教育長）

それでは特にないようですので承認としてよろしいでしょうか。

（はい）

波佐間清（教育長）

それでは、承認といたします。

【議案審議】

議案第64号 下関市指定管理候補者選定委員会（生涯学習施設関係）委員の委嘱について

波佐間清（教育長）

続きまして、「議案第64号 下関市指定管理候補者選定委員会委員の委嘱について」、生涯学習課、お願いいたします。

古西修一（生涯学習課長）

資料の6ページをお願いします。「議案第64号 下関市指定管理候補者選定委員会生涯学習施設関係委員の委嘱について」ご説明いたします。

先ほど、議案第63号で可決されました、芝及び串学習等供用会館の指定管理候補者選定委員会の設置に伴い、下関市教育委員会事務分掌規則第38条第3号の規定に基づき、委員の委嘱をさせていただくものです。資料の7ページをお願いします。選定委員につきましては学識経験者として、社会教育委員会委員長の古田昭春氏を、同じく学識経験者として社会教育委員会副委員長の冨田忠夫氏を、施設の利用に関する有識者として王喜自治連合会長の中野武志氏を、施設の利用及び経営または財務に関する有識者として王喜婦人会長の草野和子氏の4名を委嘱させていただきます。

なお、委嘱期間につきましては、平成27年10月1日から平成28年3月31日までとなっています。ご審議のほど、どうかよろしく申し上げます。

波佐間清（教育長）

ただいま説明がございました。ご意見がありましたらお願いをいたします。

（ありません）

波佐間清（教育長）

それでは特にないようですので承認としてよろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清（教育長）

それでは、これについては承認といたします。

【議案審議】

議案第65号 下関市立豊北歴史民俗資料館運営協議会委員の委嘱について

波佐間清（教育長）

続きまして、「議案第65号 下関市立豊北歴史民俗資料館運営協議会委員の委嘱について」、土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム、お願いをいたします。

西村敬教（土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム館長）

それでは、「議案第65号 下関市立豊北歴史民俗資料館運営協議会委員の委嘱について」ご説明いたします。

資料の8ページをご覧ください。本案件は、現在の委員が平成27年9月30日に任期満了となりますことから、下関市立豊北歴史民俗資料館の設置等に関する条例第16条の規定に基づきまして、別紙の候補者の方に下関市立豊北歴史民俗資料館運営協議会委員を委嘱するものでございます。

なお、任期は、平成27年10月1日から平成29年9月30日までの2年間でございます。9ページをご覧ください。9ページに10名の候補者の方をお示ししておりますが、8名の方が再任、2名の方が新任となっております。よろしくご審議のほどお願いいたします。

波佐間清（教育長）

ただいま、説明がございました。ご意見がありましたらお願いをいたします。

(ありません)

波佐間清（教育長）

それでは特にないようですので承認としてよろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清（教育長）

それでは承認といたします。

【報告事項】

平成27年度子ども文化パスポート事業の集計結果について

波佐間清（教育長）

続きまして、日程2の報告事項に入りたいと思います。まず、「平成27年度子ども文化パスポート事業の集計結果について」、教育政策課、お願いいたします。

三好洋一（教育政策課長）

それでは、「平成27年度子ども文化パスポート事業の集計結果について」ご報告いたします。

子ども文化パスポート事業の概要につきましては、6月の定例会でご説明差し上げたところでございますが、本市17施設、北九州市43施設、長門市4施設合計64施設を対象として7月18日から8月31日までの45日間、事業実施を行いました。このうち市内17施設のパスポ

ート利用者数、および総入場者数につきまして、平成27年度の合計は、パスポート利用者が4,592人、総入場者数が225,603人でありました。これを平成26年度と比較いたしますと、パスポート利用者が774人の減、総入場者数が約24,000人の減であり、パスポート利用者および総入場者数のいずれも減となっております。その要因といたしましては 長府博物館が新博物館開館準備のため一時閉館となり、施設の方から不参加となったことの影響、および海響館の入場者数減少分が大きな要因と思われます。今後におきましては北九州市、長門市ともに参加施設からのアンケートや、利用者の動向等を検証し、次年度以降の事業に向けて見直しを行ってまいりたいと思います。以上簡単ではございますが、ご報告をさせていただきます。

藤井悦子（教育委員）

下関市のリサイクルプラザですが、こちらだけ人数が増えているようですが、何か昨年と変わったことをなさったのでしょうか。

三好洋一（教育政策課長）

具体的な詳細についてはこれからの分析になります。しっかり分析してまいりたいと考えております。

波佐間清（教育長）

他にございませんか。

吉井克也（教育長職務代理者）

利用者が増えているところと減っているところがあります。今お話がありました、やはり原因究明は大事なことだろうと思います。私は、今まちづくりの取組などで小学校や中学校の保護者の皆さんと色々話をする機会もありますが、このパスポートのことについても話をしてみました。とても良いから親子で行ってみたいという話をしてみました、パスポートが手に入るのが夏休み直前のようです。その方々はもっと早くいただきたいと言われました。そうすると大人も夏休みの計画ができる。夏休みに直前になると、すでに色々行事が入っているし、どこかへ遊びに行こうとか、親元へ帰ろうとか計画も入っていると。早めにいただくともっと親としても利用ができると思うというご意見がありました。なるほどと思いましたので、お伝えしておきたいと思います。

波佐間清（教育長）

他にご意見ございますか。

藤井悦子（教育委員）

今のパスポートは紙ですが、少し費用をかけて首からぶら下げるようなストラップ付きの仕様に変更してみてもどうでしょうか。ただの紙より、子供にとって魅力的な付加価値をつける工夫が必要なのではないかと思います。

三好洋一（教育政策課長）

9月28日に、共同実施をしている北九州市と事務担当者との事務レベル協議がございます。今いただいたアイデアを協議に活用させていただきたいと思います。ありがとうございました。

波佐間清（教育長）

私の孫たちも、パスポートデイと2日くらい決めて、この中の例えば、ホテルミュージアムや人類学ミュージアム、考古博物館等に行ったようです。パスポートがあると、行くところがはっきりわかって、楽しかったというようなことも言っておりました。

また、大いにこれらを宣伝しながら進めていくことが大事なことかなと思います。今いただいたご意見を参考にさせていただきたいと思います。

他に何かありましたらお願いします。よろしいですか。それでは、報告済みといたします。

【報告事項】

台風15号接近に伴う教育施設災害状況について

波佐間清（教育長）

続きまして、「台風15号接近に伴う教育施設災害状況について」、学校支援課、お願いいたします。

石田朋彦（学校支援課長）

学校支援課です。よろしくをお願いいたします。「台風15号接近に伴う教育施設災害状況について」ご報告いたします。

先月の8月25日、台風15号により発生した教育施設災害のうち被害の大きかった2件を文部科学省に災害報告書を提出したことをご報告いたします。資料は11ページから15ページです。12ページ、13ページを見ていただければと思います。安岡中学校、校庭フェンスの倒壊、配置図をご覧ください。運動場東側の校庭フェンス、テニスコートのところにあります高さ4メートル、全長が44メートルのフェンスが倒壊いたしました。状況写真等は13ページにあります。復旧費は概算で400万円でございます。

2番目として、下関商業高等学校、校庭照明塔の倒壊、配置図14ページをご覧ください。運動場の西側、クラブ室横に設置をしております照明塔、高さ14メートル1基が倒壊いたしました。状況写真ですけども15ページになります。状況写真の通りで、復旧費は概算で200万円でございます。当日、下関では瞬間最大風速28.5メートルを記録しており、強風により倒壊したものと思われまます。倒木は他の学校でも多く発生しておりました。現在、この2件についての復旧方法について検討中でございます。以上、簡単ですが、教育施設災害状況についてご報告いたします。よろしくをお願いいたします。

波佐間清（教育長）

報告が今ございましたが、ご意見ございませんか。

吉井克也（教育長職務代理者）

安岡中学校のフェンスの倒壊ですが、この写真を見た限りではあまりそういう印象は受けませんが、私も現職時代に注意をしておりましたのは、夏は蔓がフェンスに巻きあがります。それを放置しておくとな風が吹いた時にヨットの帆のようになってものすごく風圧を受けます。管理上の問題として、やはりこまめに切り取るということも大事だと改めて思いました。

石田朋彦（学校支援課長）

ご指摘の通りでございます。私どもも各学校に出向いて蔓を取っていますが、なかなか取りきれていないのが状況でございます。今後とも校務技士さん、あるいは学校支援課で対応してまいりたいと思っています。

林俊作（教育委員）

復旧については検討中ということでしたが、予算がつくまで直さないということですか。

石田朋彦（学校支援課長）

新設というやり方で改修するか、あるいは足元をもう少し補強してもう一度起こして使うか、どちらにするかというふうなことも併せて今考えております。安岡中学校については、たぶん新設になるのではないかと今検討しているところです。

林俊作（教育委員）

今はそのままになっているわけですか。

石田朋彦（学校支援課長）

早急に直すつもりです。現在、鋭意努力中でございます。

野口裕子（教育委員）

このフェンスは検討中ということでしたが、概算で400万円ということで、新設にした場合400万円で収まるものですか。

石田朋彦（学校支援課長）

新設にした場合に400万円くらいかかります。

野口裕子（教育委員）

同等のものということですね。もう少し頑丈なものではなくて。

石田朋彦（学校支援課長）

今と同じようなものです。先ほど吉井委員が言われたとおり、蔓が巻きついてかなり風圧を受けた、あるいはフェンスを設置して30年くらいが経っているようで、老朽化により根元が少し腐食していたのも事実だという状況でございます。そうしたことで、その根元をもう一度鉄骨を巻いて補強するというやり方もあれば、全部新しくするという方法もないわけではありません。予算のことも踏まえて改修方法を決めていかなくてはいけないと思っています。現在のところ、新設という形で進みたいと思っていますところでございます。

波佐間清（教育長）

下関商業高等学校では大きな照明塔が倒れたわけですが、民家への被害など説明をしてもらえますか。

和田守正（下関商業高等学校事務長）

写真でご覧いただきますと、民家の方にもたれかかっているように見えますが、実際には民家とはかなり距離がございますので直接的な影響はございません。

波佐間清（教育長）

これは新設されるのですか。

和田守正（下関商業高等学校事務長）

はい。鉄塔は設置して45年経っておりまして、根元の部分が腐食をしておりますので、新設するように考えております。鉄塔よりコンクリート柱の方が丈夫だということと、安価にできるというようなお話いただいておりますので、コンクリート柱で新設したらどうかと今のところ考えております。

波佐間清（教育長）

それで200万円ということですか。

和田守正（下関商業高等学校事務長）

そうです。

波佐間清（教育長）

これに類する他の鉄塔もあろうかと思いますが、その辺りはどんなですか。

和田守正（下関商業高等学校事務長）

照明塔は全部で4塔ありまして、そのうちの1塔が倒壊しました。その1塔のみが下部の部分が腐食しておりまして、その他の3塔についてはそういった状況も現在のところ見受けられません。業者にも確認をしていただきまして、すぐに他の3塔が同様の状況になるということではありませんが、いずれにしても45年経過しておりますので、かなり古い鉄塔だと思います。

野口裕子（教育委員）

高さ14メートルある鉄塔で、基礎があまりないというのを写真で見て驚いています。

和田守正（下関商業高等学校事務長）

構造上、根元から折れている形になっているので、地下には2.7メートルほど埋まっております。

波佐間清（教育長）

そういう状況であるということです。これからも台風はないことを願っているわけですが、よろしくお願いをしたいと思います。それでは次の報告にいきたいと思いますがよろしいですか。

（はい）

波佐間清（教育長）

報告済みといたします。

【報告事項】

平成27年度地区文化祭・公民館まつり等について

波佐間清（教育長）

続きまして、「平成27年度地区文化祭・公民館まつり等について」、生涯学習課、お願いいたします。

古西修一（生涯学習課長）

資料の16ページをお願いします。16ページ、17ページになります。平成27年度の地区文化祭・公民館まつり等の日程を報告いたします。

17ページに一覧表を載せております。10月以降に市内の公民館、それから生涯学習センター、ふれあいセンター、ふれあい会館の各会場で開催をされます。作品展示、芸能発表など地域の学校や団体の日頃の活動の成果を是非ご覧いただければと思います。生涯学習プラザの第6回ドリムシップまつりにつきましては、10月17、18日、この土・日曜日で開催される予定です。また、パンフレット等できましたら、また、教育委員さんにお送りしたいと思っております。以上、報告いたします。

波佐間清（教育長）

地区の文化祭、公民館まつり等の一覧表がでております。また、これについて何かご質問がありましたら。皆様方も是非また、近くのところに覗いていただければ。我々もできる限り公民館の文化祭を含め、訪問をしているところであります。よろしいですかね。それでは報告済みといたします。

【報告事項】

下関市立考古博物館開館20周年記念特別展「綾羅木郷遺跡とその時代一環濠集落事始め」開催について

下関市立考古博物館開館20周年記念シンポジウム「綾羅木郷遺跡—本州最西端の弥生文化を探る—」開催について

波佐間清（教育長）

続きまして、「下関市立考古博物館20周年記念特別展について」、文化財保護課、お願いします。

町田一仁（文化財保護課長）

併せまして、次の20周年のシンポジウムと一緒に説明させていただきます。

まず、お手元にチラシを配布させていただいております。まず、クリーム色のチラシから、ご覧いただければと思います。この秋に考古博物館では開館20周年を記念した、2つのイベントを企画しております。

まず、開館20周年記念特別展の「綾羅木郷遺跡とその時代—環濠集落事始め—」の開催でございます。この展覧会は考古博物館の建設の企画でありました綾羅木郷遺跡の過去から最近までの調査のデータを取りまとめまして、環濠集落としての綾羅木郷遺跡を再評価しようとしたものであります。展示品につきましては、先日、新聞各紙にカラーで取り上げていただきました県内初出土の弥生の土笛の関係品をはじめ、他の遺跡と比較検討するため日本の各地から借用いたしました。集落遺跡の出土品などがございます。この中には重要文化財3件27点も含まれておりますので、皆さん是非ご観覧いただければと思っております。会期は9月19日から11月15日まででございます。

次に、シンポジウムについてです。このチラシは開館20周年を記念いたしましたシンポジウムのご案内でございます。開催日時は10月3日土曜日の午後1時からでありまして、会場は海峡メッセ下関の国際会議場であります。このシンポジウムのテーマは「綾羅木郷遺跡—本州最西端の弥生文化を探る—」としておりまして、西日本を代表する弥生時代の集落施設がありますが、綾羅木郷遺跡の学術的な位置付けについて発表し、ご議論をいただくところに、この施設の破壊と、資料による保存運動が、昭和40年代の日本社会に与えた影響などについて振り返ろうとするものであります。基調講演、シンポジストにつきましては、日本の考古学会を代表する研究者、ならびに当時の発掘調査に加わった研究者、調査担当者の方々であります。この機会に、当時全国のテレビや新聞に再三に渡って報道され、日本の文化財保護の在り方を大きく変えました綾羅木郷遺跡について、あらためてお考えいただければと思っております。なお、当日は考古学博物館のマスコットキャラクターであります「ぶえ吉」が登場いたしまして、このシンポジウムに合わせまして、綾羅木郷遺跡の保存のために設定されました、現在清永只夫さんが会長になっております、郷土の文化財を護る会から、この「ぶえ吉」の着ぐるみをプレゼントしていただくことになっておりますので、是非、お越しいただけたらというふうに思っております。教育委員の皆さまにはご案内の方、差し上げたるようにはいたしておりますので、よろしくお願い申し上げます。

波佐間清（教育長）

マスコットキャラクターの「ぶえ吉」は、土笛ですか。

町田一仁（文化財保護課長）

弥生の土笛というのは、綾羅木郷遺跡で日本初めて出土いたしております、綾羅木郷遺跡、考古博物館のシンボリックなものでございます。綾羅木郷遺跡の名前が一躍有名になったのは、この文化財の保存運動と、この弥生の土笛が初めて出土したということにございますので、これをキャラクターにしたということでもあります。

波佐間清（教育長）

あんまり見たことがありませんが、どこにいますか

町田一仁（文化財保護課長）

考古博物館で、子供さんが学習に来られた時には「ぶえ吉」をイラストした色々な配布物とかを配らせていただいております。着ぐるみにつきましては課題となっておったところでござい

すが、文化財を守る会の方が着ぐるみを作ってくださいということで、10月3日に初めて出させていただきます。

波佐間清（教育長）

「ぶえ吉」を楽しみにしておきましょう。

野口裕子（教育委員）

土笛というのは、当時どういうふうに使われていたのか簡単に教えて下さい。

町田一仁（文化財保護課長）

色々な考え方がありまして、はじめはいわゆる楽器として使われていたのではないかとということで、実際にこの土笛を復元しまして、山口県立大学の田村洋先生とかが音を出しております。

野口裕子（教育委員）

実際に鳴るのですか。

町田一仁（文化財保護課長）

はい。音階もついて、メロディーを奏することができます。それから最近の研究としては、笛ではなく儀礼的なものではなかったのかという議論もありました。このたび、この土笛の少し小型ができましたので、研究を積む中で、また土笛の研究に新たな見解が加わってくるんだろうと思っています。私どもは、土笛は楽器と思っております、考古博物館の展示室に入る前にバックミュージックがかかっていますが、これが土笛の音になります。

波佐間清（教育長）

是非、考古博物館に足を運んでいただければと思います。ではよろしいですか。

（はい）

波佐間清（教育長）

それでは報告済みといたします。

【報告事項】

下関市立美術館の開館時間の変更について

波佐間清（教育長）

続きまして、「下関市立美術館の開館時間の変更について」、美術館、お願いします。

中村美幸（美術館副館長）

美術館でございます。「下関市立美術館の開館時間の変更について」ご報告いたします。

18ページをご覧ください。下関市立美術館の設置等に関する条例第3条の規定に基づき、臨時に開館時間を変更いたします。変更日は9月26日土曜日、変更後の開館時間は午後7時30分までの夜間開館になります。変更理由は、次の19ページに戻りますけれど、現在開催しております特別展「御所の花 安野光雅」の関連催事としまして「観月会」を開催し、より多くの市民の方に展覧会事業を提供するためでございます。以上、報告をいたします。よろしく願いいたします。

波佐間清（教育長）

9月4日のオープン式で、安野光雅さんご自身が来られて、ご挨拶もされました。現在90歳だとお聞きをして、お元気であります。こんなにたくさん御所の中にお花があるのかと思うくらいたくさんありましたので、大変見ごたえのある心が癒される日でありました。26日の観月会

ではお菓子とお抹茶がでるそうで良かったらお月見を兼ねて行かれたらいかがかなと思います。、夜間の開館もここ最近あまりなかったのでもよろしくお願いいたします。それでは、報告済みでよろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清（教育長）

ここで、こども育成課に入ってください。

【報告事項】

平成28年度下関市立就学前施設の園児募集について

波佐間清（教育長）

こども育成課に入室をしていただきました。準備ができましたら、「平成28年度下関市立就学前施設の園児募集について」、説明をお願いしたいと思います。こども育成課、よろしくお願いいたします。

川口和子（こども育成課長）

こども未来部こども育成課の川口でございます。よろしくお願いいたします。

では、「平成28年度下関市立就学前施設の園児募集について」ご報告いたします。資料の20ページをご覧ください。

まず、募集のスケジュールについてでございます。公立幼稚園と公立こども園の1号認定のお子様については、本年10月27日から10月29日の3日間としており、今までどおり各施設で受付を行います。私立の幼稚園、こども園は各施設が定めることとなります。保育園、またこども園の2・3号認定のお子様については、公立・私立ともに本年10月26日から受付を開始し、11月20日までに申請のあった方について、最初の利用調整を行うこととなります。以後、資料にお示ししていますように1回目、2回目の追加募集を行い、各期間ごとに利用調整を実施いたします。保育園の場合は、求職活動を理由に入られる方もいらっしゃいますので、この方たちについては、2月1日から受付を開始いたしまして、2月20日までとなっておりますが、これ以後も随時受付はいたしまして、最終的には3月19日までに申請があれば、利用調整をすることとなります。園児募集についての周知につきましては、市報又は市のホームページ等で実施いたします。

募集をする公立の就学前施設についてでございますが、ここにお示ししていますとおり、幼稚園につきましては、本年度13園、保育園は16園、認定こども園は7園となります。

平成27年度と変わるところでございますけれども、内日幼稚園につきましては、今年度、新入園児が10人未満で全園児数は15人以下となりましたために、来年度の園児募集を中止して、在園児が卒園するのを待って休園となります。また、黒井幼稚園と黒井保育園については、3年教育も含めまして、黒井こども園として新たにスタートさせるために、黒井幼稚園、黒井保育園の廃止と黒井こども園の設置について12月の市議会定例会に議案上程する予定でございますので、11月の教育委員会定例会で廃止議案及びこども園設置条例案について報告事項として提出させていただく予定でございます。内日幼稚園、黒井幼稚園の件につきましては、本年7月13日に、また黒井保育園につきましては今月の18日にそれぞれの施設で、保護者説明会を実施いたしました。様々なご質問等もいただきましたけれども、一定のご理解をいただけたものと考えております。なお、岡枝幼稚園につきましては、年長児5人が今年度の3月をもって卒園をしますので、その後休園となるところでございます。以上、ご報告したいと思います。

波佐間清（教育長）

説明がございましたが、委員の皆さん何かご質問がありましたらお願いをいたします。

野口裕子（教育委員）

募集スケジュールに関しまして、このスケジュールというのは、4月入園を想定したお子様のためのスケジュールというふうに受け止めてよろしいでしょうか。

川口和子（こども育成課長）

はい。そうでございます。

野口裕子（教育委員）

では、育児休暇復帰が年度途中の方、例えば11月に復帰する予定だといわれる方がいらっしゃると思いますが、そういう年度途中復帰をする方々もやはりこの時に申込みをしなければいけないというスケジュールなのでしょうか。

川口和子（こども育成課長）

これは、一応4月までということですので、4月から9月までであれば、この時期に予約という形でお申込みいただくことは可能でございます。これ以降につきましては、また新年度が始まりまして、11月復帰とした場合には3月前の8月にお申込みいただくことが可能になるということですので。

野口裕子（教育委員）

ということは、このスケジュールの時に必ず申し込まなければならないというものではなくて、柔軟に対応はしていただけるというふうに受け止めたらよろしいですか。

川口和子（こども育成課長）

これは新年度に向けての新入園児ということですので、実際には特に保育園やこども園の2号3号認定につきましては、毎月毎月入所調整をさせていただいております。育児休業の場合は復帰ということで、予約制度もございますので、そちらの方をご利用いただくということになります。

野口裕子（教育委員）

はい、分かりました。

波佐間清（教育長）

黒井こども園は、4月1日設置予定とありますが、今回の募集も入りますか。

川口和子（こども育成課長）

はい。設置条例については12月議会に挙げさせていただく予定ではございますが、募集時点では、黒井こども園は予定であるということで募集をかけさせていただこうと思います。それにつきましては、実際に募集が始まる10月27日より前に地元で説明会をさせていただきたいと考えております。

波佐間清（教育長）

他にご質問がありますか。

（ありません）

波佐間清（教育長）

それでは報告済みといたします。こども育成課は退席をいたします。

【報告事項】

第2次下関市総合計画実施計画について

波佐間清（教育長）

それでは追加の報告でございます。「第2次下関市総合計画実施計画について」、石津部長、お願いいたします。

石津幸紀生（教育部長）

お配りをしております資料でご説明させていただきます。この度、第2次下関市総合計画前期基本計画の実施計画が、別添のとおり作成をされ公表されましたので、そのご報告をさせていただきます。

9月9日の市議会の総務委員会でこの実施計画は説明をしております。今後はこの実施計画に掲載した事業について、新年度の当初予算等にも当然反映してくる案件でございますので、是非、教育委員の皆さんにも、この内容について、特に教育委員会所管の事業については知っておいていただく必要があるということで、急遽追加をさせていただいたものでございます。

第2次下関市総合計画は、平成27年度以降10年間を見通す新たな行政経営の基礎となるものであります。この総合計画は3部構成です。

まず、3部構成の第1部が基本構想からなっています。この基本構想は10年間の期間で記載をしております。本市を取り巻く現状課題を体系的に整理しながら、市の将来像を掲げ、目標とする将来像を実現するために必要な施策の大綱と位置づけています。

それから第2部が基本計画の概要です。前期基本計画として、基本構想の前期5年間を計画期間としております。各施策の分野ごとに課題を掲げ、今後5年間において推進すべき基本的な施策、こういったものを基本計画の中で掲載をしております。

最後に、3部が実施計画であり、基本計画と同じく5年間となっております。実施計画の対象事業は、総合計画の理念・施策目標を達成するために計画される政策的事業で、重点的に実施いたします。

以下3つの事業を実施計画事業としております。大規模な投資的事業、概ね1億円を超える事業。それから、ハード・ソフト問わず第2次市総合計画基本計画に定める施策の達成に大きな影響を与える事業。それから2次総合計画に定める重点取り組み方針である人口減少・少子高齢化対策に対応した都市の魅力向上、暮らしやすさ向上の推進に大きく寄与する事業、こういった事業について、実施計画事業として掲載をしております。ちなみにこの実施計画事業は掲載されたからといって必ずしも予算の担保があるわけではなく、今後、事業費等については予算編成の中で査定をされていくというものであります。それから、実施計画事業については、毎年ローリングをしますので、来年度以降も新規の事業を掲載することも可能でありますし、廃止することも可能、毎年ローリングをしていくというものでございます。

1枚めくっていただきまして、掲載事業ですが、教育委員会では、新規で8件、継続で4件、合わせて12件の実施計画事業が掲載をされております。左端の列のPというのは実施計画のページ番で、それからナンバーは項目です。もう1枚めくっていただきまして、特に新規事業8本に概要を記載しております。

最初に、史跡前田砲台保存整備。これについては、平成28年度に整備基本計画の策定であるとか、情報収集のための発掘調査を実施する予定にしております。

その次の未指定文化財調査。これは市内を28の地区に分けて、年次計画に基づいて指定文化財の悉皆調査を実施して地域文化財を総合的に把握いたします。平成28年度は委員会を設置して、本庁地区等で悉皆調査を実施するように考えております。

それから、小・中学校の長寿命化。従来は建て替えをしていた老朽施設の再生を図るために、建物の構造体の耐久性と建物の安全性を向上させるとともに、多様な学習内容、学習形態による活動が可能となる改修を行います。平成28年度は事業実施計画等の作成を予定しております。

それから、小・中学校の教育環境整備ですが、平成28年度から小・中学校の普通教室に扇風機を3台程度1教室に設置をしたいと考えております。平成26年度に小学校あるいは中学校のPTA連合会から普通教室へのエアコンの設置のご要望がありました。それが難しければ扇風機

をとというご要望の内容でした。なかなか普通教室にエアコンを設置するというのは、工事費も26億ぐらいかかりますし、電気代も9,400万から1億円近くかかります。老朽化施設にそういった工事をするというのは、なかなか困難であるというふうに今までの議会でも申し上げておりますけれども、何とか暑さ対策の一助になるのではないかとということで、山口県内では山口市が普通教室に扇風機を設置しているという調査もありまして、本市でも、多少暑さ対策、熱中症対策として、来年度から扇風機を設置していきたいと考えております。すでに市内の小・中学校では、PTAからの寄附などにより、普通教室に扇風機を設置している学校も多少はございますけれども、本格的に本市でもこの扇風機の設置を今考えていきたいというところであります。

それから、下商については、体育館の耐震補強工事を行います。

それから、コミュニティ・スクールの推進です。コーディネーターの活動内容の充実を今後目指していくというものです。

それから、公民館の耐震化の2次診断につきましては、9つの公民館について、Is値が小さい公民館から、平成28年度から順に2次診断をやっていききたいと考えております。

最後に、土井ヶ浜整備です。中尾市長も再三議会で、新博物館の整備の次はやはり土井ヶ浜ということをおっしゃっていただいていますし、今回、市長プレゼンの中で、実はB評価でしたが、市長プレゼンの中でA評価に変更していただいて、この実施計画事業に何とか掲載をするようになりました。平成28年度は検討委員会を設置して行きたいと考えております。今からは事業費の精査しながら、この土井ヶ浜の整備に取り組んでいきたいと考えております。

冒頭申し上げましたように、こういった実施計画掲載事業につきましては、また、秋以降の新年度の当初予算のご説明の中で出てくると思っておりますので、本日はその概要についてご説明をさせていただきます。以上です。

波佐間清（教育長）

ご質問がありましたらお願いいたします。いかがでしょうか。また、予算等もありますし、10月は市長の総合教育会議もあります。今後の下関を担う、10年間を見通す第2次下関市総合計画でありますので、じっくりと見ていただければと思います。

(はい。)

波佐間清（教育長）

それでは報告済みといたします。

【報告事項】

平成27年度全国学力・学習状況調査における下関市の結果分析について

波佐間清（教育長）

最後になりますが、「平成27年度全国学力・学習状況調査における下関市の結果分析について」、学校教育課、お願いいたします。

澄川忠男（教育指導監（教育研修室長））

学校教育課教育研修室でございます。今、お手元に冊子が2冊、小学校、中学校と書いた冊子が2冊とワンペーパーがあると思います。詳細は冊子になりますが、本日は市内の状況について分析をしましたので、その概要についてワンペーパーを使って、ご説明をしたいと思います。

まず二重線で囲んであるところでございます。今回の結果については、学力向上に向けて、各学校における取組や小中学校が連携した取組により成果が上がっています。これは、先生方の努力の結果、そして何より、子供たち一人ひとりの頑張りの表れであると考えております。しかしながら、課題が課題のままになっている部分もありますので、この結果を真摯に受け止め、各学校で分析し、課題解決に向けて取り組んでいくことが大切であります。この結果、その数字だけみて終わりではなく、その分析が大事であるということでございます。

まず、大きな1番「教科に関する調査の結果から」でございます。1点目の「条件を付して説明を記述する問題ができていない傾向」についてです。これについては、対応といたしましては、一問一答形式の授業ではなく、自分の言葉で説明させる場面を授業の中で取り入れていく必要があると考えております。それからもう1つ。教えるべきところを確実に教え、基礎基本の力の定着を図るということでございますが、例えば理科の磁界という言葉を使つてと、そういう授業の中での用語がでてきた場合、その用語についてはどういう意味があるのか、それはしっかり教えないといけないことであると考えます。教えるべきところと考えさせるべきところをしっかりと区別して、教えるべきところはしっかり教えるというスタンスは崩してはいけないということでございます。

それから2点目でございます。「グラフや表から読み取ってそれから考える問題ができていない傾向」についてです。これについては、やはり授業の中で色々な資料を活用して、図やグラフ・表なども含めてそれから読み取るという、こういう教材を先生方が意識して活用していく必要があると考えております。

それから3点目。「中学校の数学Bにおいては、『無回答率が高い』』というところでございます。最初からあきらめず、問題に粘り強く取り組むために、やはり基礎基本の力というのは、これはつけていく必要があります。これをつけていかない限り、いくら考えなさいと言っても考えることができないので、特にA問題にあたる基礎基本の力の定着は課題であります。それから、日ごろからB問題を意識した授業、B問題というのは考えさせるということから、出題の文言等が少し練っており、そういう問題にも意識した先生からの発問、問題を投げかけるその言葉かけの仕方なども工夫する必要があると考えております。

それから大きい2番でございます。「クロス集計の結果から」ということで、①から裏側の⑥までありますが、児童生徒の様子です。まず①ですが、テレビ・ビデオ・DVDを視聴する時間が1時間より少ない児童生徒ほど平均正答率が高い。ただし全く視聴しない児童生徒の平均正答率は低いということから、ある程度、毎日のニュースなどの情報には触れる必要があると考えております。それから、裏面でございます、②。当然といえば当然ですが学校の授業の復習をしている児童生徒ほど平均正答率が高い。学校で学ぶべきところは学んだ後、家で復習をする学習習慣をつける必要があると考えています。それから③でございます。社会で起こっている問題、出来事に関心がある児童生徒ほど平均正答率が高い。これは先生方、それから保護者の方も含めて、毎日世の中での出来事などの情報に触れるような声掛け、言葉掛けをする必要があると考えています。④話し合う活動をよく行っていた児童生徒ほど平均正答率が高い。話し合いという活動はかかわり合いのある授業ということで、児童生徒同士のかかわり合いというのを授業の中で取り組むように言っておりますが、話し合いをしなさいと言って答えを見つけたらもう終わりではなくて、答えを見つけたら終わりだったら、その中でよくできる子がもう答えをいったら終わりということになってしまうので、そうではなくて、まずは目的を明確にした話し合いの時間で、話し合いの過程、自分がどういう考えを持っているのか、これをしっかり自分で書いたりして、それを基にして話し合いをします。そういう話し合いを大事にした授業をする必要があると考えています。それから⑤でございます。これも新聞、それから読書、そういう習慣がついていることが平均正答率が高くなるということで、これはさらに、読書活動の充実、児童生徒の生活環境に目を配る必要があると考えています。それから⑥は小学校のみの傾向でございますが、5年生までに受けた授業で扱うノートに目当てとねらい、それからまとめ、そういうものを書いていた児童ほど平均正答率が高い。これは常に言っている、毎時間の授業での目当てとふり返り。これを大切するということは効果があるという検証になっていると考えます。

最後に大きな3番でございますが、「学力向上に向けての下関市の課題（取組）」についてでございます。「継続して取り組むこと」、それから「今後さらに力を入れて取り組むこと」の2つに分けております。継続して取り組むこととしては、今まで申し上げている目当て、ふり返り、かかわり合い、こういうものは常にこれからも継続して取り組む必要がある。それから条件を設定して文章を書く場を授業の中で設ける。そしてコミュニティ・スクールを積極的に活用し、学校の支援をしてくださる方々と一緒に勉強したり、そういう場を活用したりするということです。今後さらに力を入れて取り組むこととしては、そこに書いてあるとおりでございます。今までご

説明したことが書いてありますので、これについてはまだ足りないところがあると考えられますので、これは今後さらに力を入れて取り組む必要があると考えています。

それから、小学校の冊子と中学校の冊子で少し見ていただきたいところがございます。小学校の冊子で、3ページは児童質問紙の結果で、点数ばかりではなく子供たちの生活を振り返るという部分でこの児童質問紙というのは大変大切にしております。3ページとそれから4ページにつきましては、全国や山口県と比較してプラス傾向にあるものです。下関の子供たちが、よくできていると思われるところが、この3ページと4ページです。例えば、質問番号53、1番最初でございますが、国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか、こういうふうにそれぞれ質問が書いてありますので、これを見る限りではこういう部分について子供たちは非常にいい傾向にあると。例えば4ページの読書は好きである、学校に行くのが楽しい、人の役に立つ人間になりたいと思う、この辺りは下関の子供は優れているところ。これは大変自慢していいところではないかと思えます。それから5ページ、6ページでございますが、こちらはマイナス傾向であるところ。つまり下関の子供たちに頑張ってもらいたいところ。残念ながら理科の勉強が好きという子どもは少ない。毎日同じくらいの時刻に寝ている、つまり生活習慣が身についているかどうかだと思えます。それから、テレビやビデオを見る時間が長い。4時間以上見る、または4時間以上そういうメディアに触れるということも非常に県や全国と比べて多い傾向にあります。それから6ページでは地域の行事に参加をする子どもが少ない。この辺りをコミュニティ・スクールの取組をしておりますので、やはり地域とのつながりというのをこれからも密にしていく必要があると考えております。それから、地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますかという問いに対して少ない。最後が新聞を読んでいますか、ですので、これを見る限りでは、これからの子供たちに取り組んでほしいことがよく分かるのではないかと思います。それから7ページ、8ページ、これは学校質問紙といいまして、学校の校長先生が自分の学校を振り返って回答した結果でございます。これについてもここに7ページの方がプラス傾向、8ページの方がマイナス傾向というふうに整理をしております。これにつきましても各学校で今一度ふり返りをしていただいて、取り組んでいただくべきことではないかと思えます。特に8ページの1番最後でございますが、小・中連携が進んでいるとはいいいながら、まだまだこの状況からみると学校として取り組むべきことが見えてくるのではないかと思います。校長会等を通じてまた学校の方には呼び掛けていきたいと考えております。中学校も同じように3ページから子供たちの状況が書いてございますので、また是非詳しく見ていただけたらと思っております。今後、この小学校、中学校の分析冊子につきましては、小学校、中学校の冊子をつけて小学校、中学校に送って、小学校は中学校の状況も見ていただきたいし、中学校は小学校の状況を見ていただきたいと考えております。また、本日、中・高連携の連絡協議会というのがあります。中学校と高等学校の連絡協議会ではこの下関市の学力の状況については、中学校と高等学校の校長先生方にも現状をお伝えしようと考えております。以上でございます。

波佐間清（教育長）

今年の全国学力・学習状況調査における分析をしていただいたところであります。ご質問がありましたらお願いいたします。

林俊作（教育委員）

これは、もうプレスリリースするのですか。

澄川忠男（教育指導監（教育研修室長））

ホームページ上には、最後の2枚とご説明したこのワンペーパーをホームページ上で公表する予定です。

林俊作（教育委員）

いつからですか。

澄川忠男（教育指導監（教育研修室長））

間に合えば本日から公表いたします。ただし、冊子については量がたくさありますので、ホームページには出しません。

吉井克也（教育長職務代理者）

今の分析結果等については大変参考になりますし、何ら問題ないと思っておりますが、かねてからこの学力調査で思っていることですが、どうして教科が国語、算数、そして理科、社会がどうしてないのかと思っておりました。今回の分析結果を見ても、例えば、地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある児童ほど平均正答率が高い。これは当り前のことです。いうならば社会的なものを見方とか、思考とかそういうものが身につけている子供は、国語や算数の学力が高くなっていきます。

もう1つ、読書や、新聞を読む習慣が身につけている児童生徒は平均正答率が高い。社会的な事象に関心を持って毎日過ごしている子供は、幅広く色々なことを知り、そしてそれを基に考えることができます。

今文部科学省では、国立大学でも人文系学部を減らしていこうという動きがありますが、何を根拠にそういう発想がでてきているのか、まったく理解できません。科学者にしろ、どんな優れた方にしろ、文学や哲学や、あるいは宗教や、そういう幅広い人間力といえますか、そういうものをしっかり深めた人が科学者としても大成されていっています。これはもう間違いのないことです。このような意見を下関市から山口県や国にむかって発信していただきたいと思っております。

もう1つ気になるのは、こういう教科の共通テストがあるといったら、学校では対象の教科はある意味で力を入れるかもしれないけれども、対象外の社会科等はどういうふうに行われているのか心配もあります。どの教科もやはり力を入れていただきたいし、そのために、この調査の中にも入れてほしいという気がすごくしています。

山路康正（教育部理事）

今、いただきましたご意見は、色々な会議を通じまして県教委の方に伝えてまいります。また、県教委からも文部科学省にも伝えていただくようお願いをしようと思っております。なお、児童生徒質問紙の中に、総合的な学習の時間について聞いております。そして、やはり、学力の高い学校につきましては総合的な学習の時間が充実している、そういう傾向がございます。今、吉井委員さんがおっしゃいました社会科も含めて、総合的な学習の時間をトータルで色々と物事を考えていく必要がある、そういう教科ですので、言われたことが一致しているかなと思っております。以上でございます。

波佐間清（教育長）

他の方はございませんか。

（ありません）

波佐間清（教育長）

それでは、この件については報告済みといたします。

その他

波佐間清（教育長）

続きまして、日程3、その他でございますが、何かございましたらお願いをいたします。委員の皆さま何かございますか。

（ありません）

波佐間清（教育長）

それでは、ないようですので、次回の日程ですが、10月の教育委員会定例会は10月26日月曜日、午前10時から、この会議室で開催をする予定でございます。委員の皆さまよろしいでしょうか。

（はい）

【閉会の宣告】

波佐間清（教育長）

それでは、本日の議事すべて終了いたしました。それではこれで定例会を終了いたします。ありがとうございました。

（ありがとうございました）

署名

教育長

署名委員

署名委員

作成職員